



2021.5.7

心地よい日差しや暖かい風も吹き始め、春を肌で感じられる季節となりました。新年度の生活がスタートして一か月が経ち、子どもたちは新しい環境に少しずつ慣れてきて笑顔が見られ、遊び出せるようになってきました。子どもたち一人一人と丁寧に関わり、安心して過ごせるように日々の育ちを大切にしていきたいと思っています。



子どものようす

いすぐみ(1歳児)

新入園児のお友だちは初めての集団生活の場なので涙が出るが多かったですが、少しずつ保育者に慣れてきて、食べたり遊んだり眠ったりができるようになり、玩具に目を向けて遊び出せるようになってきました。進級児のお友だちは新任の保育者に人見知りする子の姿もありますが、徐々に気を許せるようになってきて、やりとりする場面が見られています。



うさぎぐみ(2歳児)

園庭では好きな遊具を使って砂遊びを楽しんだり虫や草花に触れたりして遊んでいます。カップや皿に砂を入れて食べものを作り、保育者の元へ運んできて食べさせてくれたり、何を作ったのか尋ねると、「ハンバーグ」「これは牛乳」と知っている食べ物に見立てたりしていました。草花も生えてきて、花びらを握ったり葉っぱを引っ張って取ったりして楽しむ姿や、クモやてんとう虫を見つけると動く様子を見て歓声を上げ、触ってみる姿もありました。

〈散歩に出かけたよ！〉

いすぐみの月齢の小さい子どもたちは散歩車に乗って、うさぎぐみとりすぐみの月齢の大きい子どもたちは誘導ロープの輪っかを持ちながら近くの公民館まで散歩に行きました。地域の方と出会うと声をかけられたり手を振ったりと微笑ましいやりとりが見られました。

また、家の前にあるプランターや花壇に咲いている色とりどりの花を見つけて、「お花だ〜」「きれいだね〜」と口にしている子の姿もありました

〈今月の活動〉

天候の良い日には、園庭で体を十分に動かして遊びたいと思います。

